答え 11月16日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



いいいろ塗装の日にちなんで「色とぬり絵のクイズ」

【第1問】昭和の子どもに大人気だった「〇〇のぬりえ」。〇〇に入るのは？

①きいち　② はなこ　③ さちこ

画家の蔦谷喜一（つたやきいち）さんが描いた、目のぱっちりした女の子のぬりえです。昭和20～30年代、駄菓子屋さんなどで売られ、大人気でした。

【第2問】絵の具で、青と黄色をまぜると何色になる？

① 赤　②緑　③ むらさき

青と黄色で緑、赤と青でむらさき、赤と黄色でだいだい色。色をまぜる楽しさは、ぬり絵や絵手紙の楽しみのひとつですね。

【第3問】学校の「黒板」。いまの多くは、本当は何色？

① 黒　② こげ茶　③深い緑

黒板の多くは、目にやさしい深い緑色です。昔は黒くぬった板だったので「黒板」の名前が残りました。チョークの粉で、手が白くなりましたね。

【第4問】「紅一点（こういってん）」は、もとは何をたとえた言葉？

①緑の草むらに咲く赤い花　② ご飯の上の梅干し　③ 夕焼けの赤い雲

中国の詩の「一面の緑の中に、赤い花がひとつ」という句から生まれた言葉といわれます。今は、大勢の男性の中に女性が1人いることをいいます。

【第5問】若くて経験の浅い人のことを「〇二才（にさい）」といいます。〇は？

① 赤　② 白　③青

「青」には、まだ熟していない若さという意味があります。青りんごや青田（あおた）の「青」と同じです。「青春」の青も、若さを表していますね。

【第6問】「十人十色（じゅうにんといろ）」の意味は？

① みんな同じ色が好き　②好みや考えは人それぞれ　③ 十人で十色そろう

10人いれば10の色があるように、好みや考え方は人それぞれちがうという意味です。ぬり絵も、同じ絵なのに、人によってまったくちがう作品になりますね。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場

プリントのダウンロードはこちら →

まいにち元気道場 監修 作業療法士 石田竜生

© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます